

第 8 号

発行 年 3 回・12500 部
 編集・発行 海老名市教育委員会
 〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1
 ☎046 (231) 2111

えびなの教育

冬の寒さが残る 1 月、海老名市の小中学校でも 3 学期が始まりました。

今回は、新しく開所した海老名市教育支援センターの施設や取り組みのほか、教育委員会の各種事業を紹介します。

《主な内容》

- 1 面 海老名市教育支援センター開所
- 2 面 「えびりーぶ」の取り組み
いじめ相談ダイヤル新設
- 3 面 全国体力・運動能力、
生活習慣等調査結果
全国学力・学習状況調査結果
温故館出張展示
- 4 面 食物アレルギー対応食
学習支援ボランティア募集

【写真右】教育支援センター外観



海老名市教育支援センターが開所

愛称
えびりーぶ

昨年 12 月 15 日、海老名市教育支援センター（愛称「えびりーぶ」）が開所しました。

この施設は、特別支援教育や不登校・いじめなどの児童・生徒指導などに総合的に対応し、課題解決に向けて効果的に推進することを目的としています。

愛称「えびりーぶ」の由来

海老名の「えび」と「ビリーブ（愛情を持つ、信用している）」を掛け合わせた言葉。

「保護者」「児童・生徒」「スタッフ」の三者が信じ合い、児童・生徒の成長を支えるというイメージを表しています。

施設概要

〔住 所〕海老名市中新田 392-1
 〔電 話〕046-234-8764



★「人と地球に優しい施設」をコンセプトに、安らぎやストレス抑制、リラックス効果があるとされる木目調で室内を統一しています。使用木材の 50% は県内産です。

入口には
スロープを設置



開放的なイメージの
教育支援教室内

室内は
木目調で統一



★「えびりーぶ」の具体的な取り組みは 2 面を参照

海老名市教育支援センター 「えびリーぶ」の取り組み

1 面に引き続き、海老名市教育支援センター「えびリーぶ」の具体的な取り組みについて紹介します。

事業概要

特別支援教育

- 特別支援学級等や通常学級に関する就学相談
- 支援を必要とする児童生徒への対応など

児童・生徒指導

- いじめの未然防止
早期発見や対応
- 暴力行為への対応など

登校支援

- 不登校などの悩みへの来所または電話相談
- 学校や教室に適応が難しい児童生徒への対応など

新たに実施するもの

- ◆ 特別支援教育・相談の充実
センター敷地内の「わかば学園」「びーな'S」「結夢」との連携
- ◆ 相談日の拡充
心理の専門家による電話相談の土曜日実施（従前は平日のみ）
- ◆ いじめ相談専用電話の設置
いじめの早期対応等を図るため専用の回線を新設
- ◆ 言語聴覚士の派遣
ことばや聞こえに課題がある児童・生徒への対応

いじめ相談ダイヤルを新設 ～土曜午前も受付～

《いじめ発見のきっかけ》

児童・生徒本人による訴えにより、いじめが発見されるケースは、小学校では学級担任による発見に次いで2番目、中学校では最も多くなっています（下表参照）。
本人からの訴えをキャッチする一つの受け皿として、海老名市教育支援センターの開所に合わせて「いじめ相談ダイヤル」を新設しました（右図参照）。
これまでの「こども専用相談ダイヤル」と併せて、ご利用ください。



【左図】相談カード（市内全小中学校の児童・生徒に配布）

こども専用相談ダイヤル
☎046 - 234 - 8762

いじめ相談ダイヤル 新設
☎046 - 234 - 8768

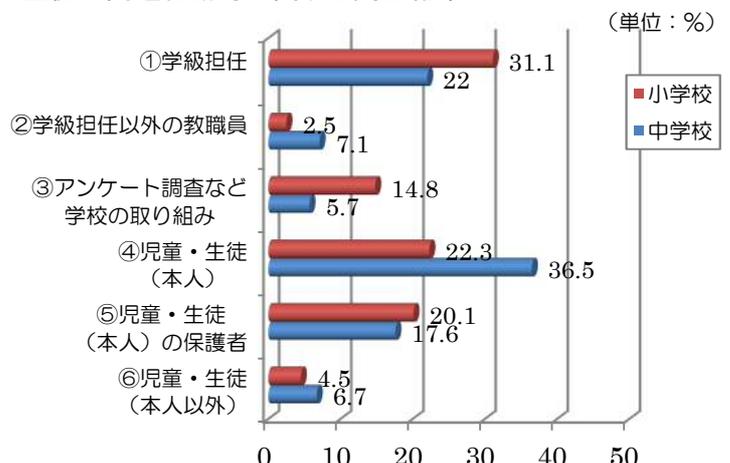
〔受付時間〕
月～金 9時～16時30分
土 9時～11時30分



《平成 25 年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等に関する調査結果》

（単位：％）

いじめ発見のきっかけ	小学校	中学校
①学級担任	31.1	22
②学級担任以外の教職員	2.5	7.1
③アンケート調査など学校の取り組み	14.8	5.7
④児童・生徒(本人)	22.3	36.5
⑤児童・生徒(本人)の保護者	20.1	17.6
⑥児童・生徒(本人以外)	4.5	6.7



平成26年度 全国体力・運動能力、生活習慣等調査 ～海老名市の結果～

調査対象

市内全小・中学校
の小学校5年生・
中学校2年生



調査内容

●実技に関する調査〔8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学生はハンドボール投げ）

●質問紙調査

昨年4月から7月末までの間に、市内全小・中学校（小学校13校・中学校6校）で、「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」が実施されました。

この調査は、子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る取組の見直しと改善を図ることを目的としています。

市では、この調査結果から、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てたいと考えています。また、今後もさらなる成果を目指して「えびなっ子プラン」を継続していきますので、「明るく元気なえびなっ子」の育成に向けて、ご理解とご協力をお願いします。

実技に関する調査の結果

体力合計点（単位：点）				
	小学校 5年男子	小学校 5年女子	中学校 2年男子	中学校 2年女子
全国	53.91	55.01	41.74	48.66
神奈川県	52.49	52.47	39.92	46.18
海老名市	53.09	54.01	40.68	48.06

※小学校及び中学校、また男子及び女子で種目別得点表は異なります

小・中学校ともに全国の平均体力合計点をやや下回っているものの、神奈川県
の平均体力合計点を上回っていました。



質問紙調査の結果

〔質問〕体育の授業は楽しいですか

〔回答〕「楽しい」「やや楽しい」

→小学校5年男子95.4%・女子92.9%
中学校2年男子94.7%・女子85.4%

〔質問〕運動やスポーツをすることは得意ですか

〔回答〕「得意」「やや得意」

→小学校5年男子86.3%・女子72.7%
中学校2年男子81.9%・女子64.2%

小・中学校ともに全国の平均を上回っており、えびなっ子が進んで運動に取り組んでいることが分かりました。



温故館がまるごと移動！出張展示

温故館では、同館に来て見学ができない地域の小学校を対象に、出張展示を行っています。

展示では、3年生で学ぶ「昔の暮らし」をテーマに、実際に温故館で展示されている、貴重な「民具」と言われる資料を学校に持って行き、児童の皆さんに目で見、手で触れてもらっています。会場では、参加した子どもたちが、民具を今の道具と比較したり、友達同士で相談しながら楽しく学ぶ姿が印象的です（写真）。



市ホームページで公開しています 全国学力・学習状況調査結果

市では、平成26年度全国学力・学習状況調査について、昨年12月上旬に、学校の結果をご家庭に配布しました。市全体の結果については、海老名市ホームページでご覧いただけます。

◆公表内容

- ・ダイジエラスト版
- ・結果概要
- ・小学校国語・算数の調査結果
- ・中学校国語・数学の調査結果
- ・児童生徒質問紙の調査結果
- ・平成27年度学力向上のための「8つの教育施策」
- ・各校の結果（配布冊子の内容）

海老名市ホームページでの閲覧方法

【方法1】トップページ→お知らせ

→「平成26年度全国学力・学習状況調査 海老名市の結果」をクリック

【方法2】右上の検索バーに と入力し検索

→「平成26年度全国学力・学習状況調査 海老名市の結果」をクリック

食物アレルギー対応食 はじめました ～卵と乳の代替食～



市では、平成 26 年 9 月（2 学期）から、小学校で、卵と乳に対する食物アレルギー対応食（代替食）の提供を実施しています。

提供を始めるに当たり、平成 25 年 12 月に市内全児童と新 1 年生を対象とした「食物アレルギー調査」を実施し、その結果、食物アレルギーのある児童は 603 名（市内全児童数の約 7%）でした。そのうち、医師の診断に基づき配慮が必要である 26 名（「学校生活管理指導表」提出者）について、保護者・学校・教育委員会の三者で面接を実施しました。そして、最終的にアレルゲン（アレルギーを起こす物質）として一番多かった「卵」と「乳」を除いた給食を、食物アレルギー対応食

（代替食）として、希望する 4 名に提供しています。

◆対象児童には特別の容器で提供

食物アレルギー対応食（代替食）は、食の創造館のアレルギー室で調理しています（左下写真）。代替食は、確実に本人に届くよう、学校名・学年・組・名前を明記した特別の容器で提供されます（右下写真）。

利用されている保護者・児童からは、「クラスの友人と給食が食べることができて、とても感謝しています」と好評をいただいております。

今後、食物アレルギー対応食（代替食）をご希望の方には、随時提供いたしますので、学校教育課保健給食係（☎235-4921）までお問い合わせください。



アレルギー室での調理の様子

～提供メニューの一例～

<従来の献立>

- ロールパン（乳）
- オムレツトマトソースがけ（卵）
- コーンシチュー（乳）



<代替食>

- ごはん
- ハンバーグトマトソースがけ
- コーンスープ



児童に提供する特別の容器

学習支援 ボランティアを 募集します

市では、授業での学習の支援、放課後の学習の支援をしてくださる方を募集します。詳細は、教育指導課教育指導係（☎235-4919）へお問い合わせください。

- 期間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月の授業がある日
- 時間 8 時 30 分～17 時の間の可能な時間
- 資格 児童の学習支援に関心をお持ちの大学生、保護者、地域の方（教員免許の有無は問いません。）



教育長コラム

～第 5 回「比べる」～



比べ、競い合うことは教育にとって、ひとつの有効な方法、手段です。しかし、それは、「比べる」ことが、次への意欲につながるということで意味を成すものです。

「背比べ」の柱のきずは、その時のその子どもの足跡です。成長を確かめるものです。お兄さんお姉さんを見て、弟や妹は、次はあそこまでと思うことでしょう。

「お前は小さい。」と示すものではありません。

私は、全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。全国と「比べて」の数値を公表しました。私の思いはそこにあります。教育委員会と学校は、次への意欲を、教育施策、学校の具体的な取組として示しています。ぜひ、ご理解とご協力をお願いします。

さて、各ご家庭では、先月、第二学期の通知票を受け取ったことでしょうか。「比べる」だけでなく、お子様のやる気につながる、親のひと言は、いかがだったでしょうか。



次号の「えびなの教育」は 4 月発行です